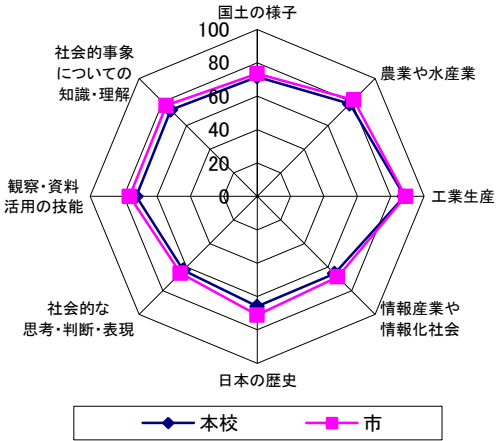


宇都宮市立宝木小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	71.7	73.6	76.2
	農業や水産業	78.4	81.9	77.5
	工業生産	88.3	88.9	83.4
	情報産業や情報化社会	65.5	68.2	61.0
	日本の歴史	65.9	71.1	70.6
観点別	社会的な思考・判断・表現	62.5	65.1	62.1
	観察・資料活用技能	72.5	76.5	75.2
	社会的事象についての知識・理解	73.2	77.1	76.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	○自然災害について問う問題の正答率は85. 6%で、市の平均より6ポイント高い。 ●主な国の名称と位置を問う問題の正答率は、67. 4%で、市の平均より6ポイント低い。	・授業の中で、外国の名称や位置について、地図帳を用いて適宜確認していく活動を取り入れたり、国の名称と位置を問うプリント学習を行ったりしながら、何度も繰り返し学習する機会を持たせる指導を行っていく。
農業や水産業	○稲作に従事している人々による品種改良の目的について問う問題の正答率は78. 8%で、市の平均より2. 6ポイント高い。 ●稲作に従事している人々の食の安全確保のための工夫や、米の輸送・販売の費用に関する資料を読み取る問題の正答率は85. 6%で、市の平均よりも4. 6ポイント低い。	・生産された米の様々な販売方法について、授業の中で復習する機会を設ける。5年生の時に行った米作り体験において、協力して下さった農家の方へのインタビューを取り入れ、農家の方の工夫や努力を知る活動を取り入れる。
工業生産	○様々な工業製品が国民生活を支えていることを問う問題の正答率は96. 2%で、市の平均より2ポイント高い。 ●工業生産に従事している人々による環境保全への取り組みについて、資料を読み取って記述する問題の正答率は80. 3%で、市の平均より3ポイント低い。	・日々の授業の中でグラフや資料を見て、そこから分かることや考えられることなどをノートに記述させ話し合う活動を行ったり、授業で理解したことを短い字数でまとめさせたりするなどの言語活動の充実を図る。
情報産業や情報化社会	●放送、新聞などの産業の役割や責任の大きさについて問う問題の正答率は64. 4%で、市の平均より3ポイント低い。	・テレビや放送の役割について、NHK放送局などの社会科見学を通して、授業での学習理解に加えて、実感をもたせる学習を取り入れていく。
日本の歴史	○国学や蘭学についての理解をもとに、杉田玄白、伊能忠敬、本居宣長の働きに共通する点を問う問題の正答率は74. 2%で、市の平均より1ポイント高い。 ●水墨画について問う問題の正答率は67. 8%で、市の平均より14ポイント低い。	・さまざまな歴史的な事柄を覚えていくために、授業の導入部で繰り返し復習をしたり、確認をしたりしていく。また、その知識と資料を関連付けられるようにするために、日々の授業の中でグラフや資料を見て、分かることや考えたことを記述させるなどの書く活動を取り入れて、正確な名称などを覚えさせていく。